

## 2019 年度 後期授業評価アンケート 顕彰科目担当教員コメント

教員名	高畑 英樹
顕彰科目名	特別支援教育論（中等）

●授業運営において工夫されている点

①授業配布資料作成で留意したこと

- ・ 学生が不安になったり、混乱したりしないように授業で説明する P.P と一致した配布用資料を作成する。
- ・ 資料の分量は、学生がさっと目を通しやすいように、A4 用紙 3 枚までで準備する。
- ・ 資料の中には、「一人で考える」「周囲と考える」「考えたことを書く」マークを入れ、何をするかがわかるようにする。
- ・ 授業の見通しがもてるように、また概略がわかるように、授業のキーワード（その授業での核となる用語）を示す。
- ・ キーワード部分をいくつか空欄にして、学生が考えて書けるようにする。
- ・ 資料の中に、「授業でわかったこと」欄を設け、授業の振り返りができるようにする。
- ・ 配布資料の最後には、次の授業のキーワードを記し、予習の課題とする。

②個々の学生と個別につながる工夫

- ・ 個々の学生と挨拶したり声を掛けたりする機会にするために、資料は講義室に来室した学生順で直接手渡しする。（大抵の学生は、資料を受取ると授業が始まるまでに資料に目を通してている。）
- ・ コミュニケーションカードを活用し、学生からの個々の質問に対して必ず記述して回答し、次の授業では、全体でシェアして授業に反映する。
- ・ 授業終了後に質問があるときは、必ず本人が納得できるまで応えるようにする。

③学生同士で高め合えるための工夫や実践につながる工夫

- ・ 事例をもとに、実際の場面を想定し、隣同士や数人で、（どんな考えでも互いに認め合うことを前提として）考えを深める。

●今後取り組んでいこうと考えておられることなど

- ・ 学生同士で考えて、考えをお互いに自然にシェアできるような授業にしていきたいと思います。
- ・ 学びが実践につながるように「〇〇なとき、どうする？」というミニ実践の時間を設定したいと思います。